

政治学委員会現代政治過程における課題分析・制度設計分科会（第26期・第1回）

議事要旨

出席者：井田 正道・石上 泰州・内山 融・河野 武司・小林 良彰・谷口 尚子・堤英敬・中谷 美穂・西川 伸一

1. 会議名 政治学委員会現代政治過程における課題分析・制度設計分科会（第26期・第1回）

2. 日 時 令和7年3月19日（水）17：00～18：00

3. 会 場 オンライン会議

4. 議 題

（1）分科会役員の選出

- ・第26期 委員長：谷口尚子（慶應義塾大学）、副委員長：内山融（東京大学）
幹事：井田正道（明治大学）、中谷美穂（明治学院大学）

（2）2025年度の活動について

- ・自治体や学校現場等と協働しながら主権者教育を継続実施する。
- ・政治学委員会が世界政治学会（International Political Science Association, IPSA）ソウル大会で組むパネル（The Politics of Aging Societies in East Asia）の中で、本分科会メンバーが報告する。
- ・本分科会独自の活動として、選挙とSNS等の関係・課題・制度改善について研究し、公開シンポジウム等を通じて多方面と知見を共有・議論し、今後の方向性を提起する。

（3）その他

- ・2024年度の活動について

政治学委員会主催の公開シンポジウム「未来を創る主権者教育」において、本分科会メンバーが報告・討論等を行った。参加者数約120名であった。

<公開シンポジウム「未来を創る主権者教育」開催概要>

主催：日本学術会議政治学委員会

共催・後援：なし

日時：令和7年（2025年）3月19日（水）14：00～16：30

場所：オンライン開催（zoom ウェビナー使用）

一般参加の可否：可、一般参加者の参加費の有無：無

開催趣旨：

選挙権年齢の 18 歳以上への引き下げを契機として、民主主義と地域社会の未来を創る次世代育成の場として、「主権者教育」が注目されている。アカデミアでの議論・教育現場での実践・地域社会での取り組みについて、多様な主体で情報を共有し、議論する。

次第：

14：00 司会・開会挨拶

堤 英敬（日本学術会議連携会員／香川大学法学部教授）

14：05 報告「ポストポピュリズムの時代の主権者教育—デジタル空間において解放される観客としての市民」

小玉 重夫（日本学術会議連携会員／白梅学園大学・白梅学園短期大学学長／教授／東京大学客員教授）

14：30 討論・質疑

早川 誠（日本学術会議第一部会員／立正大学法学部法学科教授）

14：50 報告「破いてみる、叩いてみる—体験的主権者教育授業の実践例—」

西川 伸一（日本学術会議連携会員／明治大学政治経済学部教授）

15：15 討論・質疑

中谷 美穂（日本学術会議連携会員／明治学院大学法学部政治学科教授）

15：35 報告「ちいわか総選挙—『決める』体験を通した小中学校における主権者教育」

松崎 亮太（鳥取県選挙管理委員会事務局長）

16：00 討論・質疑

城山 英明（日本学術会議第一部会員／東京大学大学院法学政治学研究科 教授）

16：20 閉会挨拶

谷口 尚子（日本学術会議第一部会員／慶應義塾大学法学部教授）

16：30 閉会

以上